

Ⅲ章 各高等学校の改革の方向性

1 後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数と学級数の推移

本県の後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数については、I章の4 (p.7) に示したとおりです。本県の県立高等学校の学級数については、前期実施計画期間中（令和元～5年度）において全県で44学級削減する予定（令和3年11月時点）であり、さらなる少子化の影響により、後期実施計画期間中（令和6～10年度）においても、県全体でさらに削減が必要となります。

一方で、令和11年度は、一時的に中学校卒業見込者数が、令和10年度より約1,000人増加する見込みです（p.7図2）。入試における公立比（地区内の全高等学校に進学した生徒数のうち、県立全日制課程高等学校に進学した生徒数の実績値の割合）や地域、学校の状況等を勘案すると、後期実施計画期間において、県立高等学校の学級数は、県全体で36学級の削減が必要となります（表1）。

後期実施計画期間中も引き続き、全ての高等学校において、中・長期的な学級数の見通しを立てて高等学校の在り方を検討していく必要があります。

2 全日制課程の改革の方向性

各地区の中学校卒業見込者数及び減少見込数は以下のとおりです（表1）。広域にわたって人口が分散している本県においては、各地区の実状に応じて今後の高等学校の再編整備や学校規模を検討していく必要があります。

なお、学級の減少数は、卒業見込者の減少数をはじめ、入試の志願動向や募集定員の充足状況などの各地区の実状を踏まえ、あくまで現段階で想定される見込みであり、様々な要因によって変動する可能性があります。

表1 令和5年3月以降の中学校卒業（見込）者数と学級の減少見込数（各地区・全県）

地 区 (学校数 * 1)	前期実施計画		後 期 実 施 計 画				学級の減少数 の合計 (前期後期)
	令和5年3月 卒業見込者数	学級の 減少数	令和10年3月 卒業見込者数	卒業見込者 の減少数	令和11年3月 卒業見込者数	令和11年度を見通した 学級の減少数の目安*2	
県北(14校)	3,834	12	3,308	526	3,663	7	19
県中(16校)	4,550	10	4,071	479	4,269	9	19
県南(5校)	1,234	3	1,111	123	1,222	3	6
会津(14校)	2,146	10	1,894	252	1,926	8	18
いわき(13校)	2,875	7	2,565	310	2,696	6	13
相双(6校)	900	2	723	177	834	3	5
全県(68校)	15,539	44	13,672	1,867	14,610	36	80

出典は、p.7の図2と同じ。

*1 学校数

令和5年度に生徒募集を行う予定の県立の全日制高等学校の数。

*2 令和11年度を見通した学級の減少数の目安

各地区の令和元年度から令和3年度入試の公立比等を考慮した県立高等学校への進学見込者数から算定。

そこで、以下の①～③の基本的な考えのもと、各校の後期実施計画期間中の改革の方向性を地区ごとに示すこととしました。

- ① 全日制高等学校については、望ましい学校規模（1学年4～6学級）や入試の状況等を考慮しながら、学校の再編、各校の学級数の期間内の増減を計画的に進めます。
なお、「各校の改革の方向性」における学級数計と計画値が、一致しない地区については、計画値を基準として、中学校卒業見込者の増減や入試の志願動向により学級数を適切に定めます。
- ② 地区内で生徒の多様な進路希望に対応できるよう、全日制高等学校を「進学指導拠点校」「進学指導重点校」「キャリア指導推進校」「地域協働推進校」「職業教育推進校」のいずれかに位置づけるとともに、定時制・通信制高等学校も含めて、各校の特色や計画期間中の方向性を明示します。
- ③ 生徒の希望する学びの内容に応じて、「普通科・普通系専門学科」「総合学科」「職業系専門学科」を地区ごとにバランスよく配置するとともに、特色ある新しい学科の設置について検討します。

(1) 県北地区

中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	3,834人	→	3,308人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(67)学級	→	60学級
学級数の増減の目安			7学級減

各校の改革の方向性

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
福島	普通	7	6	△1	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○梅章のおしえ「清らかであれ、勉強せよ、世のためたれ」のもと、SSH事業やこれまでの成果を継承した、県内の学習指導、進学指導をリードする取組の推進。 ○全校生が課題研究に取り組むなど、探究的な学びの実践による、主体的に考え、協働的に行動できる人材の育成。
橘	普通	6	6	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○生徒の自主的な進路選択を促し、進路意識の早期確立を図る多様な行事を柱とした進路指導。洗練された文化の創造を目標とした活動及び「探究ゼミ」による、高い志と自ら学び考える力の育成。 ○授業第一主義と文武両道を目標に掲げ、質の高い授業ときめ細かな個別指導を核とした、学力向上と進路実現を図る取組の推進。
福島商業	商業	6	5	△1	職業教育推進校 ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○ビジネスリテラシーの習得を基本に、資格取得や文武両道等を推進し、豊かな人間性を養い、産業社会の変化に対応できる、健全で持続的な社会を担う将来の職業人の育成。 ○地域社会及び大学等と連携した教育活動の展開や地域ビジネス共創活動の実践的取組により、自ら課題を発見し、倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力の育成。
福島明成	農業	5	5	0	職業教育推進校 ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○農業の重要性を理解し、興味関心を持って意欲的に学び、農業の基本的な知識・技術を身に付けて、持続可能な農業の展開や地域社会の活性化に寄与できる人材の育成。 ○農業のグローバル化や法人化、6次産業化に関する知識・技術の習得を図るとともに、経営感覚を養い、農業の技術革新に対応できる人材の育成。
福島工業	工業	6	5	△1	職業教育推進校 ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○産業界の動向を注視し、伝統技術を踏まえた上での、先進技術に関する学びの導入及び地域産業界等との連携を図り、時代の要請に応じた質の高い工業教育の実践による、「信頼され続ける工業高校」を目指す取組の展開。 ○事故の未然防止を図る5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動の推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
福島西・ 福島北 統合校	探究 (仮称)		1	1	進学指導重点校 令和9年度統合予定 統合校の方向性は、29 ページに記載
	探究 併修		1	1	
	総合		4	4	
福島西	普通	4	0	△4	令和9年度、統合により募集停止
	探究 併修	1	0	△1	
福島北	総合	4	0	△4	令和9年度、統合により募集停止（統合までに3学級となる予定）
福島東	普通	6	6	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「創造・協調・躍進」を校訓とし、「文武両道」を実践しながら、生徒の個性・能力に応じた教育を徹底し、大学進学等に対応する高い学力の育成及び変化の激しい時代をたくましく生きる力の育成。 ○探究型・対話型の魅力ある授業による豊かで深い学びの追究。
福島南	文理	2	2	0	キャリア指導推進校 ○各科の特色を生かし、国内外と連携した教育活動の充実による生徒の学びの質の向上と、生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育の推進。 ○商業に関する専門的な知識・技能の習得と資格取得を目指すなど、普通教育と商業教育の推進による地域を支える人材の育成。 ○文理科における多様で特色ある学校設定科目やサイエンスセミナー等の実践的な授業の展開による、大学進学を目指す探究的な学びの推進。国際文化科におけるALTを活用した授業やイギリスの姉妹校交流などを実践し、英語力を高め大学進学を実現。情報会計科における高度な資格・検定の取得を通じた学びによる、進学から公務員、民間企業への就職までの幅広い進路希望の実現。
	国際文化	1	1	0	
	商業	1	1	0	
川俣	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○地域やその課題について学び、解決策を提案する「地域探究」の取組による、コミュニケーション能力の向上と適切な職業観・勤労観の育成。 ○ふくしまイノベーション人材育成推進校として、地域と連携した教育課程の研究やアクティブ・ラーニングの実践を通じた授業改善による、充実した教育活動の展開。
梁川・ 保原 統合校	普通	6	6	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に対応できるコース制の導入やICT機器の活用、習熟度別授業及び少人数指導による、きめ細かな教育活動の実現。 ○伊達市や地域企業等と連携した地域探究学習による地域の魅力化・活性化への取組など、地域連携活動の充実。
安達	普通	4	4	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○県内高校唯一のユネスコスクールとして、SDGsの指針に基づく探究活動や国際理解教育を通じた社会（地域）の未来形成につながる主体性・多様性・協働性の育成。 ○基礎・基本の定着をふまえた主体的・対話的で深い学びの展開及び生徒の力や可能性を引き出す個に応じた指導やサポートを通じた進路希望の実現。
二本松工業 ・安達東 統合校	工業	3	3	0	職業教育推進校 ○二本松・安達地区の工業教育の拠点として、個に応じた丁寧な指導と社会人講師による技術指導や講義等を通じた高い専門性を身に付ける教育活動による、創造性豊かで地域産業の中核を担う人材の育成。 ○県内唯一の家庭科の設置校として、地域や関係団体等と連携した実践的・体験的な学びによる、ふくしまの生活と産業を支える人材の育成。 ○二本松・安達地区を学びのフィールドとした探究活動や、工業科と家庭科の学科間連携による協働した学びの推進。
	家庭	1	1	0	

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
本宮 ※	普通	2	2	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実。また、商業に関する専門的な知識・技能の習得と資格取得を目指すなど、普通教育と商業教育の推進による地域を支える人材の育成。 ○生徒が自らの適性を発見し能力を開発する取組を通じた、人生を切り拓き社会の中で主体的に行動できる、よりよく生きていく力の育成。 ○地元本宮市との包括連携協定を基盤とした地域や社会と関わる探究活動等、特色ある教育活動の展開。
	商業	1	1	0	
学級数計		67	61	△6	
計画値			60	△7	

県北地区の再編整備の方向性

① 福島西・福島北統合校

開校年度：令和9年度予定

使用校舎：福島西高等学校の校舎

学科構成：探究科（仮称）1学級、デザイン科学科1学級、総合学科4学級（計6学級）

統合校における教育活動の方向性：

- 質の高い授業の実践と進学指導を充実させることにより、大学等への進路指導体制を強化するとともに、各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献する人材を育成する学校として、進学指導重点校に位置づけます。
- 新設する「探究科（仮称）」については、新しい時代に必要な資質と能力を育む探究型学習を充実させ、高い進路目標の実現を図ります。
- 福島西の取組を継承する「デザイン科学科」については、国内有数の美術系学科としての特色ある教育活動により、難関芸術系大学への進学を含めた国内外で活躍できる人材の育成を図ります。
- 福島北が取り組んでいる総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズに合わせた科目群（系列）の充実により、幅広い進路希望を実現します。

検討する統合校の特色化：

大学等と連携し、SDGsの視点を取り入れた学習の実践。STEAM教育の実践による系列及び学科横断的な学びの充実。主体的・対話的で深い学びの実現を目指すアクティブ・ラーニングの推進。

※ 本宮高等学校については、今後、特別支援学校を併設し、インクルーシブ教育システムの推進を図る観点から、1学年3学級であっても統合対象外とします。

(2) 県中地区

中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	4,550人	→	4,071人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(80)学級	→	71学級
学級数の増減の目安			9学級減

各校の改革の方向性

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
安積	普通	7	6	△1	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○中高一貫校の利点である6年間の系統的で継続的な指導を生かした、高いレベルの進路実現に向け主体的に学ぶ生徒の育成。 ○「開拓者精神」のもと、知・徳・体を錬磨し、高い志をもって世界で活躍できるリーダーの育成。 ○授業第一主義のもと、県内の学習指導及び進学指導をリードする、探究的な活動を重視した質の高い授業の実践や、確かな学力と高い知性を育む取組の推進。
安積黎明	普通	7	6	△1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○地域や社会に開かれたカリキュラムの充実を図り、多様な領域で活躍する感性豊かな人材の育成を目指した、探究的に学ぶキャリア教育の推進。 ○「保健・医療」及び「教育」コースの導入による、職業観や進路意識の醸成と進路希望の実現。また、芸術・文化活動においても県をリードする取組の実践。
郡山東	普通	6	6	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○個に応じた、きめ細かな指導による進路希望の実現。 ○探究活動を通じた、学びたい分野から大学進学につなげる進路指導の実践。 ○ICT教育の実践と、英語4技能の充実を図る取組の推進。 ○グローバルな視野で課題を捉え、未来を見据えて社会貢献できる人材の育成。
郡山商業	商業	6	6	0	職業教育推進校 ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○ビジネスにおけるマネジメント能力の向上に必要な、創造力・発想力の豊かな人づくり及びICT活用力を向上させる取組の推進。 ○実学を重視した体験的・実践的な学習を通じた専門性の深化と、個に応じた丁寧な指導による、資格取得の向上を目指した取組の推進。
郡山北工業	工業	7	6	△1	職業教育推進校 ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域産業や時代のニーズに対応した工業人の育成及び地域産業の活性化に貢献できる、新しい産業創出に関わる人材の育成。 ○ロボット製作などの、ものづくり教育のさらなる充実と、全国トップレベルの資格取得率をより向上させる教育活動の推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
郡山	普通	5	5	0	進学指導重点校 方向性は、32 ページに記載
	英語	1	0	△1	
	グローバル探究 (仮称)		1	1	
あさか開成	国際科学	4	4	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域社会と国際社会を創造する人材の育成。 ○SDG s を基本的な考え方とし、自らのキャリア形成と関わらせながら、社会の課題解決を目指す探究的な学びを通して、持続可能な社会の実現に寄与する人材の育成。 ○国内外の多様な人との出会いと経験を積み重ねる教育活動による、多様性を意義あるものと認識し、多様な人々と協働して新しい価値を創造する能力と態度の育成。
湖南	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○きめ細かな学習指導による、「学び直し」として必要な「基礎学力の定着」及び地域の学校として地元の小中学校や関係機関との連携の推進。 ○湖岸清掃や除雪ボランティア、湖南の文化や自然を学ぶ「ぐるっと湖南」等の行事を通し、地域の課題を生徒自らが気付き・解決しようとする教育活動の展開。
須賀川創英館	普通	6	6	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や、地域と連携した教育活動を通じた生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に対応できるコース制の導入やICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型の授業など、個に応じた丁寧な学習指導の充実による、きめ細かな教育活動の実現。 ○地域の医療機関や企業、行政と連携した教育活動や、地域に対する理解を深め、自己の将来の在り方を探究する活動など地域連携活動の充実。
須賀川桐陽	普通	5	4	△1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○大学等との連携のもと、探究的な学びを発展させた取組による、生徒の学習に対する主体的な態度や発信力、行動力を鍛える教育活動の推進。 ○基礎学力向上に向けた取組と進路ガイダンスの充実及び進学指導における小論文や面接などの丁寧な個別指導の実施。
	数理科学	1	1	0	
清陵情報	工業	3	3	0	職業教育推進校 ○地域企業等との連携による工業・商業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○情報の学びに力を入れた工業系・商業系の学科をもつ専門高校として、専門性、学力、人間性を向上させることによる、進学や就職にも対応できる教育活動の推進。 ○情報科目を中心とした教育課程とICT機器を活用した教育の推進による、情報活用能力の向上を目指した取組の展開。
	商業	3	3	0	
岩瀬農業	農業	6	6	0	職業教育推進校 ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○農作物や家畜などの生き物を通じて生命を慈しむ豊かな人間性の育成を図るとともに、地域と連携した農業の6次産業化に対応した学習、農業の学びを活用した福祉に関する学習、さらに国際社会やグローバル化、SDG s に対応した先端技術の学習などを通して、福島から世界へ広がる時代の進展に対応した魅力ある取組の推進。
石川	普通	2	1	△1	地域協働推進校、1学級本校化（令和6年度）、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○確かな学力の定着や適切な職業観・勤労観の形成を通じた「生きる力」や「人間力」など生徒の社会的・職業的自立に必要な能力や態度の育成。 ○石川町や商工会との連携協定に基づくキャリアチャレンジや地域課題探究活動による地域コミュニティの再生・活性化など、地域と連携し協働する教育活動の展開。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間 増減	
田村	普通	4	3	△1	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○県内唯一の体育科の設置校として、競技力の向上とスポーツを通して人間力を身に付けることによる、国内はもとより世界で活躍できる人材の育成。 ○普通科において特進クラスを設けるなど、生徒の多様な進路目標実現を目指した進路指導の充実。
	体育	1	1	0	
船引・小野 統合校	総合		4	4	キャリア指導推進校 令和8年度統合予定 統合校の方向性は、32ページに記載
船引	普通	3	0	△3	令和8年度、統合により募集停止
小野	総合	2	0	△2	令和8年度、統合により募集停止
学級数計		80	73	△7	
計画値			71	△9	

県中地区の再編整備の方向性

① 船引・小野統合校

開校年度：令和8年度予定

使用校舎：船引高等学校の校舎

学科構成：総合学科4学級

統合校における教育活動の方向性：

- 総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）を設置することで生徒の学びを充実させ、地域を支える核となる人材を育成する学校として、キャリア指導推進校に位置づけます。
- 船引の取組を継承し、自治体や地域企業との連携等によりデュアルシステム※を実践するなど、生徒の職業観を育むキャリア教育を充実させます。
- 小野の取組を継承し、地域資源を活用した商品開発に取り組むなど、社会に積極的に関わる教育活動を実践します。

検討する統合校の特色化：

生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた、丁寧な学習指導や進路指導。デュアルシステムを含めた多様な科目の設置。自治体や地域企業と連携した地域課題探究型学習。

② 郡山高等学校

学科改編年度：令和6年度予定

学科改編の方向性：

- 英語科については、「グローバル探究科（仮称）」への学科改編を行い、SDGs等のグローバルな視点を踏まえ、文理の枠を超えた教科横断的な探究学習を充実させることにより、創造性あふれ新たな価値を生み出す人材を育成します。

※ デュアルシステム

学校と企業が連携し、生徒を育てる教育制度。学校では、マナー教育や安全教育、社会に出るための基礎学力等を養い、企業では、実際に企業で仕事をするを通じて専門的な知識・技能を磨くとともに職業人としての意識を養成する。

郡山高等学校における教育活動の方向性：

- 質の高い授業の実践と進学指導を充実させることにより、大学等への進路指導体制の強化を図り、各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献する人材を育成します。
- 文武両道の実践・追求により、新しい時代に対応できる学力と心身の健康を身につけ、大学進学を中心とした生徒の進路希望を実現します。
- 探究的な教育活動の推進や丁寧な指導により、難関大学を志望する生徒に対する進学指導体制の充実を図ります。
- 県指定の教育プログラムとしての「教育」コースの導入に向けた指導体制を構築するとともに、体験学習や講演会等の取組の充実を図ります。

(3) 県南地区

中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	1,234人	→	1,111人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(26)学級	→	23学級
学級数の増減の目安			3学級減

各校の改革の方向性

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
光南	総合	5	4	△1	キャリア指導推進校 ○総合学科の特色を生かし、生徒の興味関心や進路希望に合わせた多様な選択科目群(系列)の設置及びキャリア教育の充実により、地域の核となって活躍する人材の育成。 ○特色あるたくさんの専門科目を設け、実習やICTを取り入れた授業や課題研究を通して、生徒の個性の伸長を図り、他者と協働して新たな価値を創造する力の育成。 ○多様な進路希望の実現を図るため、丁寧な個別指導や資格取得に向けた指導の充実。 ○矢吹町を始め様々な組織との連携を通して、地域の活性化を図る学校づくりの推進。
白河	普通	5	4	△1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○きめ細かな学習指導や進路指導、普通科コース制導入による生徒の進学希望の実現と、文武両道の奨励を通じた、「地域とともにある愛される学校」を目指す取組の推進。 ○難関大学等への進学に対応した学習指導と、総合的な探究の時間や理数探究などの探究的な学習の展開による、生徒が主体的に学ぶ姿勢を重視した教育活動の推進。
	理数	1	1	0	
白河旭	普通	4	4	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○3年間の計画的な指導により多様な進路希望を確実に実現させる「進路ストーリー」や、文武両道を目指すためのきめ細かな学習指導による学力向上に向けた取組の展開。 ○探究的な学びや課題解決型学習、ボランティア活動への参加奨励等による主体性と協働力等の資質・能力の育成と、家庭や地域と連携・協力しての開かれた学校づくりの推進。
白河実業・ 埴工業 統合校	工業	5	5	0	職業教育推進校 ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動を推進し、職業人としての倫理観を持って地域産業界に貢献できる人材の育成。 ○工業科(機械科、電気科、電子科、建築科)における、学科連携型のSDGsを踏まえた課題解決学習の推進により、広い視野で物事を捉えることができる人材の育成。 ○商業に関する高い専門性を身に付けるための教育活動による、知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。
	商業	1	1	0	
修明	文理	1	0	△1	職業教育推進校 方向性は、35ページに記載
	文理探究 (仮称)		1	1	
	農業	3	3	0	
	商業	1	1	0	
学級数計		26	24	△2	
計画値			23	△3	

県南地区の再編整備の方向性

① 修明高等学校

学科改編年度：令和6年度予定

学科改編の方向性：

- 文理科については、「文理探究科（仮称）」への学科改編を行い、地域課題を探究する学習にSDGsの視点を取り入れ、ローカルな課題とグローバルな課題を結び付ける学習活動などに広げることで、多様な他者と共に豊かな社会や地域を創造できる人材を育成します。

修明高等学校における教育活動の方向性：

- 農業教育の拠点として、また商業教育の実施校として、高い専門性を身に付けるための学びを深化させ、地域を支える核となる人材を育成します。
- 文理探究科（仮称）におけるきめ細かな指導の推進により、四年制大学や短期大学等への進路希望に対応します。
- 文理探究（仮称）・農業・商業の大学科を持つ県内唯一の高等学校として、各学科の授業における総合選択制、農商連携の販売実習や課題研究などを通じた、学科横断型学習や地域探究活動の実践により、課題解決能力を育成します。
- 専門性の深化 (Speciality)、最適解の探究 (Solution)、地域への貢献 (Service)、共生への視点 (Socialization) の4Sをキーワードに、地域と協働しながら心豊かで素直な人間性を養成します。

(4) 会津地区

中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	2,146人	→	1,894人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(49)学級	→	41学級
学級数の増減の目安			8学級減

各校の改革の方向性

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
会津	普通	6	5	△1	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○地域に根ざした諸課題に対して、大学等と連携し、多面的・多角的な視点からの様々な探究活動の実践による、論理的思考力やコミュニケーション能力、リーダーシップ等を身に付けた、会津から世界へ発信できるグローバルリーダーの育成。
葵	普通	5	4	△1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「私の選択には意志がある」をスローガンに、課題探究型学習の「葵ゼミ」やICT機器の効果的運用を含めたアクティブ・ラーニング型授業の一層の推進による、生徒の主体性の育成。また、英語4技能の育成を図る指導法の研究・改善による、生徒の英語力向上及び大学等への進路実現を目指す取組の展開。
会津学鳳	総合	5	4	△1	進学指導重点校 ○中高一貫校の利点である6年間の系統的で継続的な指導を生かした、将来、各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献する優れた人材の育成。 ○総合学科の特長である専門科目を含めた多彩な科目の選択制を生かし、難関大学進学を含めた生徒の多様な進路希望実現に向けた、きめ細かな指導の推進。 ○グローバルな視野や高度な思考力を養うための、国際交流やSSH事業、会津大学等との連携、課題研究等の探究的活動の積極的な展開。
若松商業	商業	4	4	0	職業教育推進校 ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○商業教育は「人づくり」であることを重視した、学力向上と文武両道の実践による、人間性・社会性の育成を目指す全人的な教育の推進。 ○生徒を株主とした模擬株式会社「若商デパート」を、地域と連携しながら生徒主体で運営を行うなどの、実践的な商業教育の展開。
会津工業	工業	5	4	△1	職業教育推進校 ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域企業と連携した「共同課題研究」などの事業をはじめとする、科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる能力の向上を目指した、教育活動の推進。 ○SDGsを意識した、ものづくり教育のさらなる充実と高い資格取得率をより向上させる工業教育の展開。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
喜多方	普通	5	5	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○コース制及び単位制の特徴、ICTを活かした教育活動の推進により、生徒の多様な進路希望に対応。 ○喜多方市や地域企業、喜多方市姉妹都市等と連携した地域探究学習や国際交流による、地域貢献への意識の醸成と主体性、協働性、創造性の育成。
喜多方桐桜	工業	3	3	0	職業教育推進校 ○地域企業等との連携による工業・商業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○工業と商業の体験的・実践的な学習を通じた学びを、生徒の進路選択に生かす取組の推進と、資格取得や各種大会の参加を通じた、自ら学ぶ意欲の喚起。 ○地域に信頼される学校として、地域の小中学校及び企業等と連携した授業や商品開発など、地域密着型の取組の推進による、地域貢献意識を持つ職業人の育成。
	商業	1	1	0	
猪苗代	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○観光業・農業・防災教育など地域の教育資源を活用した探究的な学習活動を通じ、地域で活躍できる人材を育成する教育カリキュラムの実施。 ○個に応じた進学指導、コース制の導入、専門学校と提携した公務員試験対策、地域行事への積極的な参加など、地域と連携した実践的なキャリア教育の推進。
西会津	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人間の育成。 ○西会津町の教育資源を活用した、地域活性化の一翼を担う学校づくりの実践と、西高PC～Public Commitment & Plan Check～に掲げる7つの力「自己肯定力」「思考力」「課題解決力」「継続力」「傾聴力」「発信力」「協働力」を育む授業や特別活動、学校行事等の展開。
会津西陵	普通	4	4	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動を通じた生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に対応できるコース制の導入や少人数・習熟度別授業、ICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型の授業など、個に応じた丁寧な学習指導の推進。 ○地域の行事等へ積極的に関わることによる社会性の育成と、地域の課題に対する探究活動による地域づくりに貢献する意識の醸成。
川口	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○地域から信頼される1学級規模の学校として、地域の教育資源を活用した教育環境の充実による、自らの手で地域づくりに貢献する人材の育成。 ○地区外や県外出身の生徒に対し、学校と寮とが協調した指導を行うなど、地域全体での温かい指導による、人間性を高める取組の推進。
耶麻農業・ 会津農林 統合校	農業	4	4	0	職業教育推進校 ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○発酵・醸造や、そばの生産からそば打ちなど会津の豊かな農業資源の継承・発展に寄与する学びをとおして地域の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域や企業、大学等と連携した体験活動を伴う実践的な職業教育を推進し、専門的な知識や技能の習得と職業観、勤労観の形成。
田島・ 南会津 統合校	総合	3	3	0	キャリア指導推進校 ○総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた4つの系列の設置と探究的な学びの実践及びキャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○地域資源を生かした体験的な学習及び系統的な進学指導・職業教育による、地域産業界の未来に貢献できる人材の育成。 ○隣接する特別支援学校と連携したインクルーシブ教育システムの推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
只見	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○豊かな自然と文化に恵まれた地域の学びとICT活用による広い視野の学びを通して、発見した課題を主体的に解決する教育活動を展開し、未来を創造する力の育成。 ○県内外からの生徒受け入れによる交流活動を通じた社会性、人間性の育成及び地域創生の一翼を担う人材「グローバル・リーダー」育成を重視する学校づくりの推進。
学級数計		49	45	△4	
計画値			41	△8	

(5) いわき地区

中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	2,875人	→	2,565人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(58)学級	→	52学級
学級数の増減の目安			6学級減

各校の改革の方向性

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性		
			R10 年度	期間内 増減			
磐城	普通	7	6	△1	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○思考力・判断力・表現力の育成に重点を置いた教育課程の展開や、3年間の計画的な教育活動の積み上げによる、生徒の進路希望の実現。 ○探究的な学びや課題解決型の学習を重視し、主体的で対話的な学びによる深い理解に基づく、社会を生き抜く発想力・行動力を鍛える取組の実践。		
磐城桜が丘	普通	6	6	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献できる人材の育成。 ○ICT機器等を活用した授業、対面的・探究的な授業を通じた、主体的な学びや資質や能力の育成。 ○正義と礼節を守り、民主的・道徳的な態度や豊かな人間性を備え、高潔な品性と寛容な精神にあふれる生徒の育成。		
平工業	工業	6	6	0	職業教育推進校 ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想」や「バッテリーバレー構想」におけるロボット、再生可能エネルギー、AI、環境など、先進的な知識・技術を学ぶ活動の推進。 ○デジタル社会やSDGsを意識した教育活動を推進し、高い専門性や課題解決力を身に付けた、新たな社会の創造を担う人材の育成。		
平商業・ 四倉 統合校	商業		4	4	職業教育推進校 令和8年度統合予定 統合校の方向性は、40ページに記載		
	情報		1	1			
	平商業	商業	4	0		△4	令和8年度、統合により募集停止
四倉	普通	2	0	△2	令和8年度、統合により募集停止		
いわき総合 ・好間 統合校	総合		6	6	キャリア指導推進校 令和7年度統合予定 統合校の方向性は、41ページに記載		
	いわき総合	総合	5	0		△5	令和7年度、統合により募集停止
	好間	普通	2	0		△2	令和7年度、統合により募集停止

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
いわき光洋	文理	5	5	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○単位制の長所を生かす習熟度別授業や少人数授業等の取組を通じた、対話的で深い学びの実践と個に応じたきめ細かな指導による、学習指導の充実。 ○高大連携の科目を含めた多様な選択科目の設置による、進路希望に応じた履修を可能とするカリキュラムの展開。
いわき湯本	普通	6	6	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に応じたコース制の導入やICT機器の活用、習熟度別授業及び少人数指導の充実など、きめ細かな教育活動の実現による生徒一人一人の学力の伸長。 ○いわき市や地域企業等と連携した地域探究学習などによる、地域と連携した教育活動の充実により地域課題に関心を持ち、その解決を図る態度の育成。
小名浜海星	普通	1	1	0	職業教育推進校 ○普通・商業教育の実施校及び水産教育の拠点として、進路希望に応じた丁寧なキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○学科の枠を超えた探究学習を充実させ、水産業の6次産業化や地域ビジネスに関する教育活動の推進による地域活性化の視点を持った人材の育成。 ○国内有数の国際物流拠点である小名浜港に隣接している地域特性に対応した英語教育の推進による実践的なコミュニケーション能力の育成。
	商業	1	1	0	
	水産	3	3	0	
磐城農業	農業	4	4	0	職業教育推進校 ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○GAP認証や「福島イノベーション人材育成実践事業」を通じた教育活動による、農業の新たなニーズに対応できる最先端の知識と技術の習得を目指す取組の推進。 ○農畜産物の生産、加工、商品開発及び販売に生徒が自ら携わる一貫した実践的な学びを通じた、地域に根ざし地域とともに成長する学校づくりの推進。
勿来 ※	普通	2	2	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○基礎学力の定着とともに、福祉コースでの福祉の基礎・基本の学びと施設での実習による、地域との関わりと福祉社会で活躍できる人材の育成。 ○能力や適性に合わせたスキルトレーニングや放課後の学習支援などの指導の推進と、いわき支援学校くぼた校と連携した共生社会に向けた学びの充実。
勿来工業	工業	4	4	0	職業教育推進校 ○地域企業等との連携による工業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」を活用した、地元企業等との連携による実践的な経験を積ませるインターンシップ等の推進。また、高い専門性を身に付けるための工業教育の徹底による生徒の進路希望の実現及び工業を通じた地域との交流による、地域から愛され社会に貢献できる職業人の育成。
学級数計		58	55	△3	
計画値			52	△6	

いわき地区の再編整備の方向性

① 平商業・四倉統合校

開校年度：令和8年度予定

使用校舎：平商業高等学校の校舎

学科構成：商業科4学級、情報科1学級（計5学級）

統合校における教育活動の方向性：

- 商業教育の拠点及び情報教育の実施校として、高い専門性を身につけるための教育活動により、生徒の知識と技能を高め、多様な進路希望の実現を図り、地域産業を支える人材を育成する職業教育推進校に位置づけます。

- 平商業と四倉の取組を継承し、地域と連携した教育活動等により、地域産業の発展を担う実践力と資質・能力の育成を図ります。
- 県内唯一の商業科、情報科併設校として、情報活用能力を育成する教育内容の充実を図り、修得した技術を活用しながら地域課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。

検討する統合校の特色化

商業科・情報科の学科間連携。自治体及び地域企業との連携による魅力ある探究活動の取組。様々な資格取得、検定合格への支援の充実。

② いわき総合・好間統合校

開校年度：令和7年度予定

使用校舎：いわき総合高等学校の校舎

学科構成：総合学科6学級

統合校における教育活動の方向性：

- 総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置及び地域と連携したキャリア教育の充実により、地域を支える核となる人材を育成する学校として、キャリア指導推進校に位置づけます。
- いわき総合の取組を継承し、高大連携による授業の実施等により、生徒の学びを深める教育活動の充実を図ります。
- 好間の取組を継承し、丁寧な学習指導により基礎学力の着実な定着を図ります。

検討する統合校の特色化：

生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた、丁寧な学習指導や進路指導。芸術・表現系列における高い水準の教育内容の実践。大学等と連携し、SDGsの視点を取り入れた学習の実践。様々な資格取得、検定合格への支援の充実。

※ 勿来高等学校については、今後も、特別支援学校を併設する特色を生かし、インクルーシブ教育システムの推進を図る観点から、1学年2学級であっても統合対象外とします。

(6) 相双地区

中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	900人	→	723人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(25)学級	→	22学級
学級数の増減の目安			3学級減

各校の改革の方向性

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
ふたば 未来学園	総合	4	4	0	キャリア指導推進校 ○総合学科、中高一貫の特色を生かした、多様な系列や探究を軸とした学習の充実による、夢を実現し、地域や世界で未来を創造する力の育成。 ○併設型中高一貫教育の深い学びの中で高い学力をじっくり育みながら、哲学・演劇などを通じたシティズンシップ教育の充実、コミュニケーション能力の育成、グローバルな視点から地域の課題解決に取り組む力の育成を図る教育活動の推進。 ○各競技団体との連携による、世界に通用する真のアスリートの育成。
相馬	普通	3	3	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想関連事業」の取組を通して地域のエネルギー問題等を深く理解し、地域の復興と再生に寄与するリーダーの育成。 ○地域の医療、教育、福祉、行政等の各分野をテーマとした課題解決学習や探究的な学びの展開によって、多角的な視点で地域を理解する質の高い学びの推進。
	理数	1	1	0	
相馬総合	総合	5	5	0	キャリア指導推進校 ○総合学科の特色を生かした多様な科目群（系列）の設置により、生徒の学習ニーズや進路希望に対応し、生徒一人一人に寄り添った学習指導を通じた基礎学力の確実な定着。 ○キャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○震災等の災害の伝承や防災に関する教育を踏まえながら、相馬市、新地町及び南相馬市のより良い地域づくりを目指す地域探究活動を通じた教育活動の充実。
原町	普通	4	4	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」を活用し、先端施設・企業・大学等訪問を通じた将来貢献したい分野を見出す取組、地域理解と課題解決に取り組む探究学習、英語を用いたプレゼンテーションの実践等による、時代に対応した幅広い能力の育成。 ○普通科コース制における保健・医療、教育の分野を希望する生徒に対する教育プログラムの実践による、将来本県で活躍できる人材の育成。
相馬農業	農業	3	2	△1	職業教育推進校 ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」による地域の生産者と連携した実習体験や、ICTを活用したスマート農業等先端技術学習による、革新的な次世代の農業人の育成。 ○地域との連携のもと、郷土芸能部による地域の伝統芸能を継承する活動や、地域の小中学生と協働した、食産業の魅力を発信する活動の推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
小高産業技術	工業	3	3	0	職業教育推進校 ○工業・商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想」を担う専門人材育成に向けた、大学や企業との連携によるロボット工学、再生可能エネルギー、ビジネスに関する教育や工業科・商業科を横断した教育活動の推進。 ○地域の復興や活性化に向けて取り組む学校として、地域社会との連携の強化。
	商業	2	1	△1	
双葉	普通	0	—		平成29年度より休校 住民の帰還状況や小中学校の再開状況等を注視する。 令和2年度より休校 住民の帰還状況や小中学校の再開状況等を注視する。
浪江	普通	0	—		
浪江津島	普通	0	—		
富岡	国際・スポーツ	0	—		
双葉翔陽	総合	0	—		
相馬農業飯舘	普通	0	—		
学級数計		25	23	△2	
計画値			22	△3	

※ 休校となっている双葉高等学校、浪江高等学校、浪江高等学校津島校、富岡高等学校、双葉翔陽高等学校、相馬農業高等学校飯舘校については、今後の地域の復興の進展、住民の帰還状況、小中学校の再開状況等を考慮しながら、今後の在り方を検討します。

3 定時制・通信制課程の改革の方向性

定時制・通信制高等学校については、多様な入学動機や学習歴を持つ入学者等が増えているため、地区ごとの配置の状況、志願動向はもとより、多様な生徒のニーズに応えられる学習環境の整備などの観点から、各校の計画期間中の方向性を以下のとおりとします。

(1) 定時制高等学校

各校の改革の方向性

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

地区	学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
				R10 年度	期間内 増減	
県北	福島工業 (定時制)	工業 (夜)	1	1	0	県内唯一の工業科の夜間部定時制 ○定時制課程工業科の特色を生かし、学ぶ意欲を高めるきめ細かな指導や体験学習を重視した、自立的に生き、社会の形成に参画できる人材の育成。 ○生徒に寄り添った生活指導や教育相談をはじめ、個に応じた丁寧な授業の実践による、生徒の学習意欲の喚起及び基礎学力の定着。 ○定通併修の制度等を活用した、3年間で卒業できる教育課程編成の継続。 ○技術・技能の習得、資格取得、ものづくりを通じた、進路指導の充実。
	ふくしま新世	普通 (夕・夜)	1	1	0	県北地区唯一の普通科の夕夜間部定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○単位制の導入、学び直しの機会の充実やICT教育の実践等による生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導体制の充実。 ○学校行事や学級活動の活性化、生活体験発表会の実践等により、主体的に協働し、自らの力で未来を切り拓いていく人材の育成。
県中	郡山萌世 (定時制)	普通 (昼)	3	3	0	福島県全域を学区とする多部制(昼夜間)の普通科定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○昼間主と夜間主の2つのコースを用意し、学ぶ時間、学ぶ期間等、それぞれのコースに特色を持たせることによる、生徒の多様な学びに対応した教育の推進。 ○進路希望等に応じた科目の設定による、自ら学ぶ意欲を高める取組の推進。 ○社会人に対する科目履修制度による、県民の生涯学習の充実への寄与。
		普通 (夜)	1	1	0	
県南	白河第二	普通 (夜)	1	1	0	県南地区唯一の普通科の夜間部定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○「生活体験発表」や定通大会等における学習活動へに向けた手厚い指導や丁寧で継続的な教育相談による、生徒の自尊感情や自己肯定感を高める取組の推進。 ○学び直しの取組による生徒の学習意欲の喚起や、学校行事等の活性化による仲間の大切さや集団行動の楽しさを実感できる教育活動の実践。
会津	会津第二	普通 (夜)	1	1	0	会津地区唯一の普通科の夜間部定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○アクティブ・ラーニングによる生徒の学習意欲の喚起に加え、習熟度を考慮したチーム・ティーチングを活用したわかる授業と繰り返し学習による基礎基本の定着。 ○学習、進路、健康、就業等、生徒の学校生活における悩みに真摯に向き合う個別相談の充実による、生徒の抱える課題を解決に導く取組の推進。
いわき	いわき翠の杜	普通 (昼)	2	2	0	いわき地区唯一の多部制(昼夜間)の普通科定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○昼間・夜間の共通科目履修による、3年間で卒業できる教育課程の編成。 ○基礎学力の向上を目指した、ICT機器等の活用による「わかる授業」の展開。 ○規範意識と社会性の育成、進路意識の高揚を図る取組の推進及び地域との交流やボランティア活動への参加等を通じた、社会に貢献しようとする心の育成。
		普通 (夜)	1	1	0	
学級数計			11	11	0	

(2) 通信制高等学校

改革の方向性（募集定員）

学校名	学科	R 5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
郡山萌世 (通信制)	普通	400	400	0	<p>福島県全域を学区とする県内唯一の公立通信制高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通信制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○勤労者に加え、幅広い年齢層や不登校・中途退学経験者など多様な背景を持った生徒への学びの場、学び直しの機会の提供。 ○分かりやすい面接指導や個に応じた学習指導の充実による、生徒自ら学ぶ意欲を高める取組の推進。
募集定員計（人）		400	400	0	